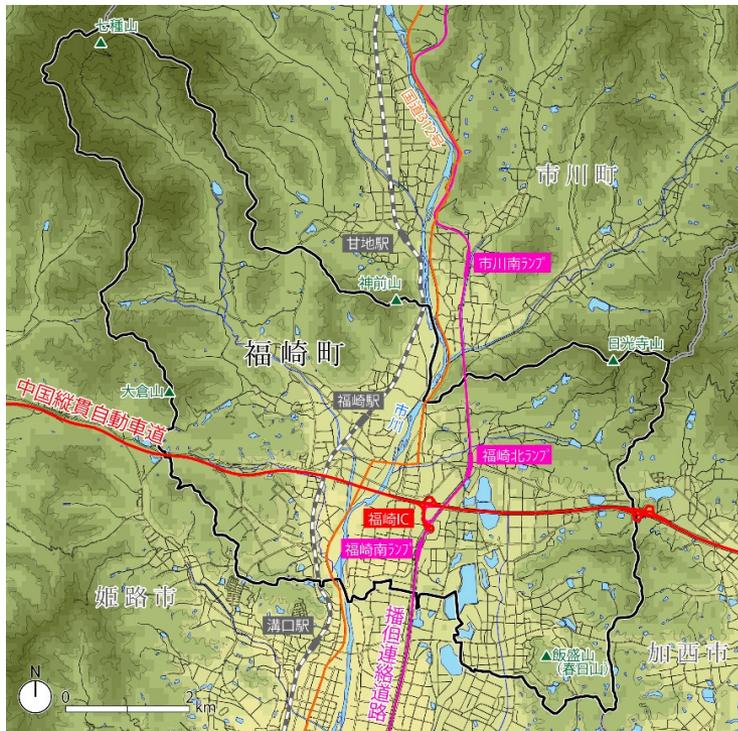
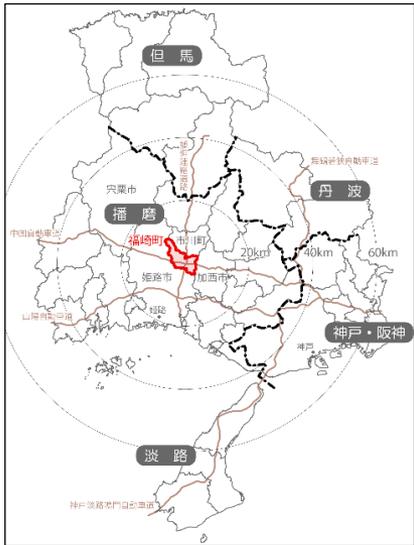


18 福崎町文化財保存活用地域計画【兵庫県】

【計画期間】令和4～10年度（7年間）
 【面積】約46km²
 【人口】約1.9万人
 【関連計画等】日本遺産（H29年度）
 「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの軌～」



◆ 福崎町の歴史文化遺産

- 歴史文化遺産を、2, 210件把握
- このうち、52件が指定等（下表）

分類	国				県		町	総数
	指定	選定	登録	選択	指定	登録	指定	
有形文化財	1	-	5	-	7	-	17	30
建築物	-	-	5	-	6	-	5	16
美術	-	-	-	-	-	-	-	-
工芸品	1	-	-	-	-	-	8	9
工芸品	-	-	-	-	-	-	1	1
書跡・典籍	-	-	-	-	-	-	-	-
古文書	-	-	-	-	-	-	-	-
考古資料	-	-	-	-	1	-	2	3
歴史資料	-	-	-	-	-	-	1	1
無形文化財	-	-	-	-	-	-	-	-
民俗文化財	-	-	-	-	2	-	7	9
有形の民俗文化財	-	-	-	-	1	-	2	3
無形の民俗文化財	-	-	-	-	1	-	5	6
記念物	-	-	-	-	3	-	10	13
遺跡	-	-	-	-	1	-	6	7
名勝地	-	-	-	-	2	-	-	2
動物・植物・地質鉱物	-	-	-	-	-	-	4	4
文化的景観	-	-	-	-	-	-	-	-
伝統的建造物群	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	1	-	5	-	12	-	34	52

◆ 歴史文化の特徴 ～ 4つの「つながり」がつくる8つの特徴～



◆ 計画の推進体制

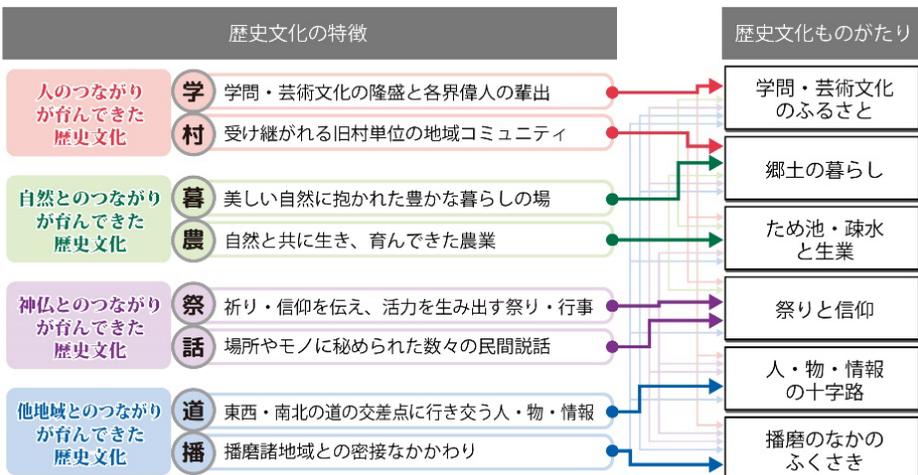
- 中心主体：町民等、行政、専門家
 - ※町民等は、住民や自治会等の地域組織、通勤・通学者、町内企業・大学、福崎町を舞台に活動・交流する人・団体
- 連携主体：関係団体・自治体、出身者、来訪者等

組織体制

区分	構成組織	
町民等	地域組織等	自治会（計33自治会）／文化財協力員
	保存会（計45団体）／図書館（福崎）	
	民間の活動団体	保存会（計45団体）／図書館（福崎）
行政	町内企業・学校等	福崎町商工会／株式会社PAGE／兵庫県立福崎高等学校／神戸医療未来大学
	福崎町	社会教育課【文化財保護主管課】／地域振興課（観光交流室）／まちづくり課／農林農産課／総務課／住民生活課／学校教育課
専門家	町民等関係	福崎町歴史協会／福崎町文化協会
	大学	神戸大学／園田学園女子大学
その他	博物館	兵庫県立考古博物館／兵庫県立歴史博物館
	ヘリテージマネージャー	ひょうごヘリテージ・機構・DO／兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会／兵庫県名勝伊丹・リネージュ・マネージャー連合会
主体機関連携	福崎町文化財保存活用地域文化遺産協議会【法定協議会】／福崎町文化財まちづくり協議会	
その他関係機関等	兵庫県教育委員会文化財課／兵庫県史跡・旧跡・史跡・史跡グループ／日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会／銀の馬車道ネットワーク協議会／選評市	

◆ 歴史文化ものがたり ～歴史文化の特徴を解説する6つのものがたり～

- 町内の多種多様な歴史文化遺産を一定のまとまりとして捉えることにより、福崎町の歴史文化の特徴を分かりやすく解説するもの
- 福崎町の歴史文化の価値や魅力を町内外に広く発信したり、数多くの歴史文化遺産をつなげながら効果的にまちづくりに活かすためのツール



注) 太線の矢印は歴史文化ものがたりの中心となる歴史文化の特徴、薄い細線の矢印は関連する歴史文化の特徴を示しています。

ため池・疎水と生業

弥生時代に農業が伝わって以来、福崎町の生業は農業が中心であった。豊作を祈願・感謝した祭り・行事や溝普請などの共同作業は、地域コミュニティの絆を深める重要な役割を果たしてきた。そのなかで、人々は、ため池の築造や疎水の開削などにより、厳しい自然条件を克服して、広大な農地を拓き、また、苧・吹の生産などの副業、酪農や醸造業などの諸産業を育み、安定した暮らしと地域の発展を支えてきた。

先人が築き上げてきた豊かな生業の場は、現在もまちづくり、そして特産のもち麦の栽培などが行われ、美しい風景を受け継ぐとともに、人々の暮らしと町の発展を支える重要な役割を担い続けている。

西光寺野新秋水路 もちまき商品

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・長池・桜上池・下池 ・矢口奥池・中池・口池
- ・西光寺野新秋水路 ・ピフクビ井堰
- ・もちまき(もち麦畑) ・八坂神社千年松株
- ・歴史民俗資料館所蔵民具(苧、吹、農具等) など

祭りと信仰

生業・営みのなかで生まれた神仏への祈りと信仰は、寺社や石仏・石塔、祭り・行事、民間説話などのさまざまな形で、現在の私たちの暮らしに息づいている。

それらは、地域の歴史文化の成り立ちを伝え、歴史文化遺産をより一層魅力的なものとし、私たちの地域に対する誇りや愛着の源となっている。また、人と人との絆を育み、豊かな地域コミュニティをつくり出し、生き生きとしたまちをつくる原動力になると同時に、人々の地域の空間・環境に対する認識や、自然との良好な関わりを伝える前近代的な知として、現代社会を生きる私たちに多くの教訓を与える重要な役割も担っている。

木造彌陀如来坐像 かくしまちよじ

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・木造彌陀如来坐像【国指定】 ・祭祭り・屋台
- ・かくしまちよじ【県指定】 ・ピフクビ井堰
- ・追籠(鬼追い)【県指定】 ・庚申塔【町指定】
- ・河童のガクアなどの民間説話 など

学問・芸術文化のふるさと

近世になり庶民にも学問・芸術文化が普及するなかで、大庄屋三家家の好学の風や東西・南北の街道を行き交う人・物・情報、そして近代の郡の中心地としての繁栄は、学問・芸術文化をめざましい発展へと導いた。また一方では、美しい自然やそれらを彩る説話・伝承は、詩歌や絵画、研究などの題材となり、学問・芸術文化の発展を支えた。そして、柳田國男をはじめ、多くの学者や文化人を輩出してきた。

町内には偉人ゆかりの歴史文化遺産や、先人たちによる活発な学問・芸術文化活動を物語る数多くの歴史文化遺産が伝わり、日々の暮らしのなかで、ふと目にすることができる。そして、偉人の顕彰を通じた人材育成や他地域との交流、公民館クラブの活動など、「学問・芸術文化のふるさと」の土壌を活かした取組が展開されている。

柳田國男生家 書:倉本嶺山、画:藤本野津

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・柳田國男生家【県指定】 ・三家住宅【県指定】
- ・ヤマモ【町指定】 ・井上通泰歌碑
- ・三家家文書 ・松岡鼎・柳田國男奉納玉垣
- ・倉本嶺山や藤本野津らの書画 など

人・物・情報の十字路口

福崎町は、南流する市川が拓く谷筋や低地と東西の山崎断層帯がつくる谷筋が交わる場所に位置し、その谷筋や低地には数多くの道が通っていた。主な道には、古墳時代の石棺を運んだと考えられる石の道、中世以降の西国三十三所巡礼道などの信仰の道、近代の生野街道や北条街道、市川の舟運や渡し、そして、近代の生野鉱山寮馬車道がある。

これらの道は、人や物、情報が行き交い、村と村、人と人をつなぎ、沿道の暮らしや文化に大きな影響を与えてきた。また、それらが交わる場所には町場が発達して、交通の要衝として賑わった。

交通手段の変化などに伴い、付け替え、失われたり、広域をむすぶ道としての役割を終えたものも多いが、町内各所に残る石棺や路傍の道標、地蔵などは、かつての道が育んだ歴史文化を今に伝えている。

駒ヶ岩 かつての生野鉱山寮馬車道

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・生野街道(旧馬道) ・北条街道(因幡街道)
- ・生野鉱山寮馬車道 ・西国三十三所巡礼道
- ・駒ヶ岩(礎石) ・山崎断層帯出土石棺
- ・路傍の道標・地蔵等 ・辻川の町並み など

郷土の暮らし

七種山や市川などの美しい自然に抱かれた福崎町域には、旧石器時代には人がいたとされ、縄文時代以降、この地で人々が暮らし続けている。人々は集まって暮らすなかで、場所や生業、信仰、家などのつながりで社会的なまとまりをつくって助け合い、時代ごとの新たな技術や知恵を取り入れながら、暮らしの質を高めてきた。このことは、現在に伝わる遺跡や出土遺物、民具、古文書類などが如実に物語っている。

科学技術の進歩などにより生活様式は大きく変化してきたが、地域の土地利用や組織、自然との関わり方、生活用具など、所々にその痕跡を垣間見ることができ、現在の私たちの暮らしが、先人のたゆみない努力の結晶であることを感じることができる。

妙徳山古墳 應聖寺庭園

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・妙徳山古墳【県指定】 ・相山古墳【町指定】
- ・大塚古墳【町指定】 ・應聖寺庭園【県指定】
- ・七種山【県指定】 ・区有文書・寺社文書
- ・歴史民俗資料館所蔵民具(生活用具等) など

播磨のなかのふくさき

古代、福崎町域は大国播磨に属し、『播磨国風土記』には現在に伝わる地名も見られる。また、中世は赤松氏の所領、近世は姫路藩領として、播磨地域に展開したさまざまな歴史的事象の舞台となり、赤松氏や姫路藩に關係する数々の歴史文化遺産が残された。近代には、播磨のなかでも特に神崎郡の政治の中心となり、人・物・情報が集積するなかで地域知識人グループが形成されるなど、文化面においても中核を担ってきた。そして、戦時下には、姫路の後背地として軍事施設も立地した。

このように、播磨の歴史や文化と歩みを共にしてきた福崎町には、播磨の歴史文化の特徴が散りばめられ、播磨地域の歴史文化と一緒に捉えることで、より一層輝きを増す歴史文化遺産が数多く受け継がれている。

因寧倉 七種山

- 関係する主な歴史文化遺産
- ・旧小嶋家住宅【国登録】 ・田上川團扇倉【国登録】
- ・因寧倉【町指定】 ・石造舟居【県指定】
- ・七種山【県指定】 ・春日山城跡
- ・神崎山 など

◆ 目標

“美しき村”を目指す歴史文化まちづくり

◆ 福崎町の歴史文化の特徴（福崎らしい歴史文化）を育み、活かすための視点

- 1 各界偉人を輩出してきた地としての土壌を活かす
- 2 近世村落や旧村を単位とした人や村のつながりを活かす
- 3 企業や大学などのさまざまな主体と積極的に連携する
- 4 「民俗学のふるさと」を核としながら多様な歴史文化を活かす
- 5 関連する地域と連携して魅力を高める

◆ 基本方針

- 1 「こころ豊かなひとづくり」に取り組む
- 2 「自立（律）のまちづくり」を進める
- 3 「福崎“つながり”人」が連携・協働する
- 4 歴史文化がつくる「福崎らしさ」を活かす
- 5 「地域間交流」により歴史文化遺産の魅力を高める

**重点テーマ
に対する取組
(次頁)**

魅力の底上げ

魅力の磨き上げ

6つの取組分野ごとの取組

課題

方針

	担い手育成	調査・研究	保存・管理	活用	情報発信	体制整備
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化の大切さを十分に認識できていない人が多い ● 人口減少・少子高齢化による保存・活用の担い手の減少 ● 保存・活用の活動に十分に展開できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分な把握調査ができていない類型が多く残る ● 町民等による調査・研究の取組が限定的である ● 価値が明確になっていない歴史文化遺産が多く残る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定等を受けていない歴史文化遺産を含めた保存が必要 ● 保存措置が必要な歴史文化遺産が増加している ● 災害や火災、損傷・盗難等の被害が増加している など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光を主とした整備が歴史文化の正しい理解につながっていない ● まちづくりや教育、福祉等の他分野との連携が十分でない ● 歴史文化遺産の相互の関係を十分に活かしていない など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体やニーズに応じた戦略的な情報発信ができていない ● 子どもへの分かりやすい情報発信が十分でない ● 町ホームページの歴史文化情報の構成が分かりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内の連携が十分に図れていない ● 主体間の連携が十分に図れていないため活動が限定的 ● 指定等を受けていない歴史文化遺産への支援が十分でない
方針	<p>歴史文化の担い手となる福崎“つながり人”を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化を大切に思う人、支える人の輪を広げる ● 歴史文化の次世代の担い手を育む ● 中心となって取り組める人材や団体を育む 	<p>さまざまな視点から、継続的な調査・研究を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 着実な把握調査と定期的な追加調査を推進する ● 町民を中心とした把握調査・歴史文化研究を推進する ● 歴史文化遺産の価値や魅力を明らかにする 	<p>歴史文化遺産の価値を確実に守り、未来に伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法・条例等に基づく指定・登録等を推進する ● 歴史文化遺産を適切に保存・管理する ● 歴史文化遺産の防災・防火・防犯体制を強化する 	<p>歴史文化遺産を地域づくりの多様な取組に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化の正しい理解のもと、観光振興・産業振興に活かす ● 歴史文化遺産を豊かな生活環境づくりに活かす ● 歴史文化遺産を活かすための環境を整える 	<p>価値を正しく理解・共有し、魅力を広く発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町民等が歴史文化を身近に感じられる情報発信を行う ● 観光客や支援者の獲得・拡大のための魅力的な情報発信を行う ● 歴史文化の理解を深めるための情報発信を行う 	<p>各取組分野の取組を効果的に展開できる体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 庁内の歴史文化まちづくり体制を強化する ● 各主体が役割を認識し、連携体制を整える ● 歴史文化遺産の保存・活用の取組を支える仕組みを整える

措置(例)

教員の自己研修支援

- 小中学校教員が福崎町の歴史文化に対する理解と知識を深めることができる研修会・勉強会等を開催する。
- ▶ 学校教育での歴史文化カリキュラムづくりや小中学生等による歴史文化研究・芸術活動、調査・研究体制の構築などにつなげる。

- 取組主体：(中心)…行政（社会教育課、学校教育課）(連携)…専門家
- 計画期間：R4～10



担い手育成

自治会や小学校区ごとの重点テーマの検討・実践

- 自治会や小学校区を単位に、重点的に保存・活用に取り組むテーマ等を検討・実践する。
- ▶ 歴史文化を活かした観光振興（着地型観光）の魅力向上や町民等を中心とした歴史文化遺産の日常的な維持・管理などにつなげる。

- 取組主体：(中心)…町民等(連携)…行政（社会教育課）
- 計画期間：R6～10



活用

観光アプリの充実

- 観光アプリ「ふくなび」に歴史文化ものがたりを巡るルートを追加するなど、歴史文化情報を充実させる。
- ▶ 歴史文化の正しい理解の促進や観光客・支援者の獲得・拡大などにつなげる。

- 取組主体：(中心)…行政（観光交流室）(連携)…行政（社会教育課）
- 計画期間：R4～10



情報発信

設定目的

- 福崎町の歴史文化の特徴に磨きをかけて、福崎らしい歴史文化を育み、まちづくりに戦略的に活かす

テーマ設定の視点

- 福崎町の歴史文化の特徴を育み、活かすための視点にもとづいて設定した5つの基本方針に即す
- 学校教育や自治会等の各主体の取組と連携しながら、「民俗学のふるさと」づくりを町全域で展開し、辻川界隈を中心に各地域がつながる魅力的なまちづくりや観光に結びつける
- 多くの町民等が大切に思う民俗文化や柳田國男に関連する歴史文化遺産を対象にすることで、事業効果や歴史文化に対する興味・関心の向上につなげる

歴史文化ものかたりのうち、「学問・芸術文化のふるさと」、「祭りと信仰」、「人・物・情報の十字路口」を中心としたテーマ

「民俗学のふるさと」魅力向上プロジェクト

課題

- 「民俗学のふるさと」をキャッチフレーズに、各種まちづくりに取り組んできたが、「民俗学」とは何か、「民俗学のふるさと」の魅力の本質は何か、どのように活かせば良いか、が十分に理解・共有されていない。
- 「民俗学のふるさと」としての魅力向上・活用の取組の地域や内容が、限定的である。

方針

方針1 「民俗学」を身近に感じられる環境をつくり出す

- 町内各地域に受け継がれる民俗文化を民俗学の視点から調査・研究を行うことにより、民俗文化の記録保存や価値の解明、担い手となる人材の育成などに結び付ける

方針2 「民俗学のふるさと」の魅力をまちづくりや観光に活かす

- 古くからの道筋を活かしながら、「民俗学のふるさと」に関連する町内各地域の歴史文化遺産をつないで、まちづくりや観光に活かす

措置(例)

『故郷七十年』等の活用事業

方針1

- 『故郷七十年』や柳田國男の著書、『福崎町史』などを読む会の開催し、注釈書や小学生向けコンテンツの作成などを進める。



- 取組主体：(中心)…町民等、専門家、行政(社会教育課)(連携)…町行政(関係課)
- 計画期間：R4～R10

柳田國男・松岡家記念館のリニューアル等

方針1

方針2

- 柳田國男・松岡家記念館の改修等を行い、福崎町における民俗文化の保存・活用の拠点機能を強化する。



- 取組主体：(中心)…行政(社会教育課)(連携)…町民等、専門家、行政(関係課)
- 計画期間：R4～R8

民俗文化に触れる

フィールドワーク

方針1

- 屋上巡行マップづくり、郷土料理・行事食の調査・食べ比べ、鳥居・狛犬・絵馬等の比較会など、民俗文化に係る調査や地域間での比較などを町民等と一緒に実施する。



- 取組主体：(中心)…行政(社会教育課)(連携)…町民等、専門家、行政(関係課)
- 計画期間：R4～R10

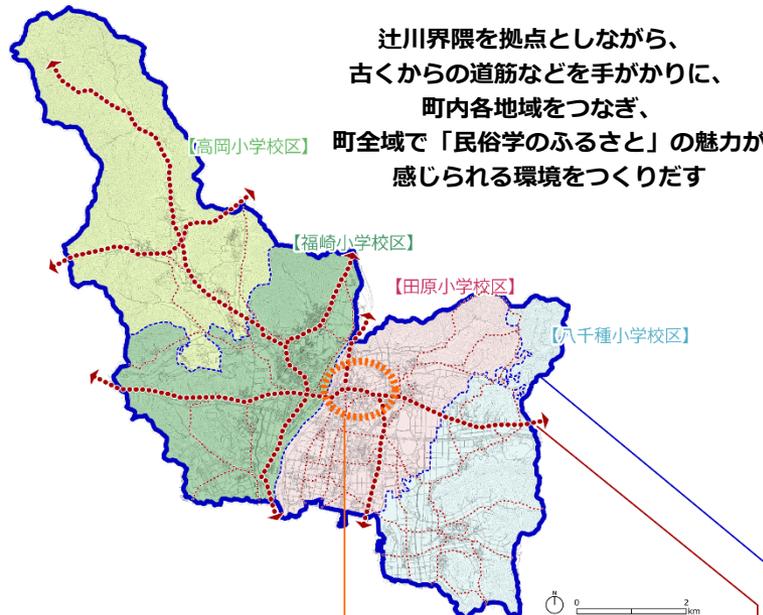
三木家住宅の保存・修理・活用・整備

方針2

- 各棟の修理や土塀補修、厩の復元を行うとともに、福崎町における民俗文化の保存・活用の一拠点としての活用に向けた必要な整備を行う。



- 取組主体：(中心)…行政(社会教育課)、町民等(連携)…専門家、行政(関係課)
- 計画期間：R4～R10



辻川界隈を拠点としながら、古くからの道筋などを手がかりに、町内各地域をつなぎ、町全域で「民俗学のふるさと」の魅力が感じられる環境をつくりだす

